

原研高崎



JAERI-TTTnews

JAERI----TAKASAKI
TECHNOLOGY
TRANSFER

技術移転ニュース

No.14 平成17年7月21日発行

浜松ビジネスウィーク2005において 高崎研の技術を展示・説明

浜松ビジネスウィーク2005(主催:浜松商工会議所、フジサンケイビジネスアイ、共催:関東経済産業局、浜松市)は、新製品・新技術を一堂に集め、異なる分野との情報交換、新たな分野への取組みのきっかけを提供し、ビジネスマッチングを推進することを目的に平成17年6月2~4日に開催された。静岡県外からの企業も含め113社が出展し、28,000人が来場した。高崎研は、グラフト重合による金属吸着材の開発、生分解性ハイドロゲル作製技術と応用、超耐熱性セラミック繊維の開発、TIARAが世界に誇る先端ビーム技術について、パネルと展示物により紹介するとともに、「電子線・ガンマ線による生活に役立つものづくり」と題してシーズ発表を行った。



靴ずれ防止用
ジェルプロテクター



展示・説明風景

本展示会では、展示ブースを訪れた方に放射線利用が生活に役立つことの理解を深めてもらうため、企業と共同開発を行い実用化した靴ずれ防止用ジェルプロテクターを配布した。

第4回産学官連携推進会議に出展

平成17年6月25、26日

高崎研は、国立京都国際会館で開催された第4回産学官連携推進会議(主催:内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、経団連、日本学術会議)において、畜産廃棄物固化剤の家畜ふん尿処理への応用及びグラフト重合により作製した金属捕集材を利用したホタテ貝加工残渣からのカドミウムの吸着・除去についての説明パネル及び製品の展示を行った。

平成17年5月18日
オープンセミナー
「電子線を用いた有害微粒子の帯電化・捕集」
平成17年7月20日
オープンセミナー
「歯学分野におけるフッ素と分析技術」

福井で放射線利用技術を紹介

核燃料サイクル開発機構主催:拡大オープンセミナー

6月28日:敦賀市 6月30日:福井市

拡大オープンセミナーは、原研及びサイクル機構の研究開発を通して生まれた技術を企業に紹介し、新産業創出につなげるもので、敦賀で33社・49名、福井で62社・83名の技術開発に興味ある企業が参加した。高崎研から「セルロース・カニ殻(キトサン)・ポリ乳酸の放射線改質とその応用」について研究開発の現状と応用例などについて紹介した。会場では、技術移転した製品の展示やパネルによる新技術の説明が行なわれ、原子力関連技術から生まれた幅広い分野の製品に実際に触れてもらった。

日本原子力研究所 高崎研究所 放射線利用技術移転チーム
窓口 笠井昇 〒370-1292 高崎市綿貫町1233
TEL:027-346-9812 FAX:027-346-9381 <http://www.taka.jaeri.go.jp>